

6月定例会

令和4年第2回幸手市議会定例会

一般会計補正予算を含む 市長提出議案8件を可決・承認

6月定例会は、6月1日から22日間の日程で開かれました。市長提出議案は、専決処分承認2件、条例案1件、規約変更1件、令和4年度一般会計・特別会計補正予算4件の合計8件でした。審査の結果8件は原案通り可決・承認となりました。一般質問は、14人の議員が市政をただしました。

コロナ禍における
原油価格・物価高騰
等に対する総合緊急
対策を図る予算

(議案第27号) 令和4年度幸手市一般会計 補正予算(第2号)

令和4年4月に閣議決定された総合緊急対策に基づく、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業、新型コロナウイルススワクチン4回目接種の体制確保、接種対策事業について、4億6028万1千円が追加補正されました。

(内容)

- ・ 児童扶養手当受給者等の子育て世帯に対し、児童一人当たり5万円を支給。
- ・ 令和4年度分の住民税均等割が非課税の世帯等に対し、一世帯当たり10万円を支給。
- ・ 新型コロナウイルススワクチン4

回目接種として、60歳以上の方及び18歳以上で基礎疾患を有する方等を対象とする接種体制の確保、接種対策事業を行うもの。

(議案第28号) 令和4年度幸手市一般会計 補正予算(第3号)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当する事業について、歳入歳出それぞれ2957万3千円が追加補正されました。

(内容)

- ・ 自宅療養者へのパルスオキシメーター配送等による事務量増加に伴う人件費の計上。
- ・ 市内でバス路線を運行するバス事業者及び市内に営業所を置

(議案第29号) 令和4年度幸手市一般会計 補正予算(第4号)

- ・ くタクシー事業者を支援する公共交通事業者支援金の計上。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の行政検査に係る診察料などの保険診療相当額の計上等。
- ・ 学校給食の食材高騰分を支援するため、学校給食物価高騰負担軽減補助金を計上。
- ・ 10万円を上限に費用を補助する住宅リフォーム資金を計上。
- ・ 公立保育所の保育士が検査するための新型コロナウイルス感染症抗原検査キット購入費の計上。
- ・ 新型コロナウイルス感染症新規陽性者の増加に伴い、自宅療養パックの追加購入費用を計上。

原油価格や物価の高騰等に直面している市民や事業者の負担を軽減するため、緊急的に実施する事業について、歳入歳出それぞれ9435万3千円が追加補正されました。

(内容)

- ・ 新生児特別定額給付金として、令和4年4月2日から令和5年3月31日までの間に出生した新生児に対し、一人当たり10万円を支給。
- ・ 水道料金負担軽減として、8月検針分から11月検針分までの4か月分の水道基本料金を免除。
- ・ 電気料金の上昇を受け、自治会・商店街が設置する街路灯の電気料補助金を増額。

**令和4年6月定例会
本会議議案質疑内容**

**(議案第27号)
令和4年度幸手市一般会計
補正予算(第2号)**

質疑

子育て世帯生活支援特別給付金の給付スケジュールについて伺います。

答弁

ひとり親世帯分のうち、令和4年4月分の児童扶養手当の受給者については、議決後13日には案内通知を発送し、受け取り拒否の届出期間を経過後に振込手続きに入り、6月28日の振込を予定しています。

申請が必要な方で、公的年金等を受給していることにより、令和4年4月分の児童扶養手当の支給を受けていない方のうち、児童扶養手当に係る支給制限限度額を下回る方については、遅くとも7月上旬には申請書を送付する予定です。

令和4年4月分の児童扶養手当は受給していないものの、新型

コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準となっている方については、7月上旬に受付を開始の予定です。

子育て世帯生活支援特別給付金のその他世帯分のうち、令和4年4月分の児童手当、または特別児童扶養手当の支給を受けている方であって、令和4年度分の住民税均等割が非課税である方は6月下旬に案内通知を発送、受け取り拒否の届出期間を経過後、振込は7月中旬を予定しています。

また、申請が必要な方のうち、対象児童、令和4年3月31日時点で18歳未満の児童、もしくは障がいを持つ子どもについては二十歳未満の養育者で、令和4年度分の住民税均等割が非課税である方については、7月中旬には申請書を送付する予定です。

最後に、申請が必要な方のうち、対象児童の養育者であって、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和4年度分の住民税均等割が非課税である者と同様の事情にある方については受付を開始する予定です。



**(議案第28号)
令和4年度幸手市一般会計
補正予算(第3号)**

質疑

感染症対応地方創生臨時交付金は、感染症対応分と地域経済対応分があり、第1号補正で1億9926万1千円のうち1億5614万6千円が予算化され、4311万5千円の保留財源がありました。さらに1億7539万円の臨時交付金が追加されたが、今回の3号補正では、2957万3千円の予算計上でした。この予算の編成方針について伺います。

答弁

地方公共団体が実施する、生活に困窮する方々の生活支援や学校給食費等の負担軽減など子育て世帯の支援、また農林水産業者や運輸・交通分野をはじめとする中小企業者等の支援といった取り組みより、取り急ぎ必要な事業を取り上げて編成したものです。交付金の残額についても、スピード感を持って事業実施したいと考え、6月議会最終日に補正予算を提案できるよう、担当部署に指示したところです。

**(議案第29号)
令和4年度幸手市一般会計
補正予算(第4号)**

質疑

水道料金の基本料の減免、衛生費の6719万2千円について伺います。

答弁

水道料金の基本料の負担軽減補助金分の内訳は、基本料金の減免分6614万円、システムの改修費として税抜きで100万円、お知らせをする文書の印刷代税抜きで5万2千円です。

(議案第28号)
令和4年度幸手市一般会計
補正予算(第3号)

賛成討論

四本 奈緒美

国において4月26日に決定された、原油価格・物価高騰対策と生活困窮者支援などの総合緊急対策では、公明党の強い要請に対して、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充し、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」が新設されました。

この度の補正予算はこれを活用したものです。学校給食物価高騰負担軽減補助金は、子育て世帯の市民を支えることであり、評価します。路線バス、タクシー事業者への公共交通運行継続の為の経営支援は、市民の移動の足を守る事であると、評価します。

今後、支援を必要としている市民、事業者、燃料・肥料等の高騰の直撃を受けている農家の方などへ、幸手市の交付金の限度額まで、速やかに幸手市らしい支援策を策定し、実施される事を期待して、賛成討論とします。

賛成討論

青木 章

埼玉県内の川越市では、食材の値上がり分を1月、1人あたり350円と見込んだと発表もあり、幸手市の給食に対する補助額1月、1人あたり100円は、あまりに寂しい限りです。更に追い討ちをかけるのは、

この補正予算提出、説明時には、幸手市に対する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の申請残が約1億8893万円ほどあることも分かりました。

また、一般質問の時点においては、市長は、今後の補助金の使いみちは、考えていないとのこと。まさしく「いかななものか」と言わざるを得ません。

この補助金は10分の10補助であり、幸手市の財源が無くても行える事業です。木村市長の公約のひとつが、「子育てしやすい環境整備で、人口減少に歯止めをかける」とのことです。約1億8893万円の財源、10分の10の補助金、更には市長公約と照らし合わせると、今回の補正予算は、あまりに「おそまつ」しかしながら、学校給食費の金額に不満が残るものの、補助金を投入したこと、また予算が成立しないと事業が出来ないことを考慮し、真に「子育てしや

すい環境整備」を強く求め賛成討論とします。

(議案第29号)
令和4年度幸手市一般会計
補正予算(第4号)

賛成討論

枝久保 喜八郎

当該予算は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として国庫支出金が100%充てられるもので、その総額は9435万3千円です。内容としては、全世帯を対象に水道料金基本料を8月から11月までの4カ月分減額する事業に6719万2千円を。

また、本年4月2日から令和5年3月31日までに出生した新生児240人を対象に一人当たり10万円を給付する新生児特別給付金事業に2408万5千円などとなつていきます。

市が、この予算を6月定例会最終日に上程したことは、ガソリンや食料品等の物価高騰の影響及び子育て世代への生活支援に緊急配慮した方針がうかがえ、大いに評価します。

今後の新生児特別給付のあり方については、自民党市議団が唱える人口減少防止対策の重要施策の

一つとして、その効果を高めるために、補正予算ではなく、当初予算案として上程されることが望ましいと指摘し賛成討論といたします。

賛成討論

小林 啓子

私は会派公明党を代表して、議案第29号、令和4年度幸手市一般会計補正予算(第4号)について賛成の立場から討論を致します。

私は、今定例会の一般質問において、地方創生臨時交付金(コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分)について通告をしました。国より、4月28日付けで各自自治体の交付限度額が通知され、6月議会で予算の議決・交付決定を行えば、国の交付決定前でも対象事業に着手することが可能であるとのことから、幸手市の実情に応じ、きめ細やかな地方創生臨時交付金を最大限に活用することが重要となると、幸手市長の考えを伺いました。

今後、幸手市への交付金の限度額まで、幸手市らしい支援策を策定し、実施されることを大いに期待して、議案第29号令和4年度幸手市一般会計補正予算(第4号)の賛成討論とします。